



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.59)

東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での令和元年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	11台	3,642台
コンデンサ類	1,326台	65,766台

*低濃度 PCB 廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会

東京 PCB 処理事業部会を開催しました

10月7日、JESCO 本社にて令和元年度第3回東京 PCB 処理事業部会(主査:永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。部会の概要は以下のとおりです。



東京PCB処理事業部会

議題1として、東京 PCB 処理事業所における下水道への放流排水の下水排除基準・協定値超過発生と対応について報告しました。

議題2として、令和元年度上期の操業状況と設備保全の実施状況について報告しました。

議題3として、令和元年度の一都三県内の対象物の長期処理計画について報告しました。

議題4として、今年度の事業部会の開催時期と議題の予定について説明しました。

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

なお、第2回については、上記議題1に係る原因と対策について9月20日～9月27日に持ち回り審議により、開催しております。

東京スーパーエコタウン協議会事業

「ビーチクリーンアップ in 城南島2019」に参加しました

10月26日、当事業所が加入する東京スーパーエコタウン協議会^(※)事業の一環として、城南島海浜公園の清掃活動に参加しました。この活動は、城南島海浜公園ビーチクリーンアップ実行委員会が主催する活動で、大田区城南地区の企業、東京スーパーエコタウン協議会の企業が参加して毎年行われております。当日は天候にも恵まれて家族連れも含め多数の参加者により、砂浜に打ち上げられた木・缶・ペットボトルなどが回収され、活動後はきれいな砂浜に甦りました。

当事業所は東京スーパーエコタウン協議会の一員として、今後も引き続き各種地域活動に積極的に取り組んで参ります。

(※)東京スーパーエコタウン協議会 = スーパーエコタウン内の12事業者が相互に協力連携し、事業効率の向上を図ることを目的に設置 (東京スーパーエコタウン HP: <http://www.ecotown-tokyo.jp/>)



ビーチクリーンアップ活動

◎スーパーエコタウン事業とは (※東京スーパーエコタウンHPから抜粋)

東京都は、首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において、都有地を活用した廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めてきました。これまでに、中央防波堤内側地区には、PCB 廃棄物処理施設及びガス化熔融等発電施設が稼働し、また城南島地区には、建設混合廃棄物リサイクル施設、廃情報機器類等リサイクル施設、食品廃棄物リサイクル施設及びびがれき類・泥土リサイクル施設が稼働しました。都は、都内処理率の向上と最終処分量の削減を推進し、廃棄物問題の解決を促進するため、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めます。

自衛消防活動審査会に参加しました

9月13日、東京消防庁臨港消防署において、令和元年度自衛消防活動審査会が開催されました。

審査会には、当事業所の代表として、
運転会社の東京環境オペレーション(株)社員2名が参加し、屋内消火栓操法を実演しました。

今年の審査会は、ディフェンディングチャンピオンとしての参加で、プレッシャーの中、代表2名は的確かつ機敏な操法動作で、審査員から高い評価を得て、昨年に続き優勝を果たし、見事二連覇を達成しました。

今回の結果を励みに、有事の際に迅速な消防活動が行えるよう取り組んで参ります。



屋内消火栓操法の実演



優勝チーム(左から)荻原さん、佐藤さん

救命講習会を開催しました

10月9日、臨港消防署救急係の方を講師にお招きして、JESCO 社員および運転会社社員の計21名を対象に救命講習会を開催しました。

講習会では、胸骨圧迫をはじめ人工呼吸およびAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法について、人形を用いた実地訓練を行い、また、気道異物除去法や応急手当についての講義を聴講しました。

緊急事態に遭遇した場合を想定した訓練を通じて、救急・救命の重要性を再認識するとともに、的確な応急対応の知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。



人工呼吸心肺蘇生法



AED心肺蘇生法

環境報告書 2019 を発行しました

令和元年度の当社の事業活動に係わる環境配慮の取り組みをまとめた『環境報告書 2019』を9月に発行しました。

この報告書は、環境保全に係る当社の事業の概要や進捗状況、各事業における環境と安全に対する取り組みを積極的にお知らせするために、毎年発行しているものです。

また、情報公開、地域や株主とのコミュニケーション、コーポレートガバナンス、従業員教育等についても記載しています。

発行に当たっては、開示情報の信頼性確保のため、第三者審査を実施しています。

※『環境報告書 2019』は、当社のHPにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(<http://www.jesconet.co.jp/company/pdf/environrep2019.pdf>)



第2四半期(7月 - 9月) 施設見学状況

令和元年7月から9月までの間、保管事業者、官公庁及びスーパーエコタウン見学会の参加者等、13団体161名の方々に施設見学にお越しいただきました。

	7月	8月	9月	計
団体数	5団体	5団体	3団体	13団体
見学者数	99名	53名	9名	161名

※見学を希望される場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所

〒135-0064 江東区青海三丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)

TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>